

茨城 発電の現状

～発電方法による分布の違い～

江戸川学園取手中学校

1年 望月優作

○調査の動機

僕は、小学校の自由研究で4年間風車についての研究を続けてきた。その中で、鹿嶋市にあるような風力発電機のほかにも、茨城県の発電所について興味を持った。そこで、発電所の地形との関係を調べ、地図で表そうと思った。

○方法

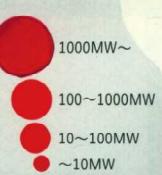
インターネットで茨城県の発電所・発電量について調べ、表にまとめ、茨城県の地図に場所をまるで表す。発電量の大小がわかるよう、丸の大きさで発電量の大きさを表す。



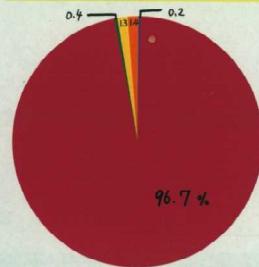
水力	(バイオマス)	出力(MW)
1 石岡第一発電所	5.5	
2 横川発電所	2.5	
3 花園川発電所	2.14	
4 石岡第二発電所	1.6	
5 小里川発電所	1	
6 川尻川発電所		



太陽光	(バイオマス)	出力(MW)
1 日立主太陽光発電所	55.5768	
2 水戸ニュータウン・メガソーラーパーク	44.4488	
3 NRE水戸太陽光発電所	40.4289	
4 SJソーラーつくば発電所	35.4729	
5 高萩安良川太陽光発電所	32.1454	
6 KEN里美太陽光発電所	32.0353	
7 袋田太陽光発電所	31.6	
8 JRE神栖バイオマス発電所	24.4	
9 JRE土浦太陽光発電所	23.0784	
10 鉢田太陽光発電所	21.541	



茨城県 発電量の方法別割合



- 水力
- 火力
- 風力
- 太陽光
- バイオマス

○まとめ

火力発電所は燃料を得やすい沿岸部、風を利用する風力発電所も風がよく吹く沿岸部、水力発電所は高低差のある場所が必要なので北部の山地が多いということが分かった。また、火力発電は発電量全体の大半を占めているということも地図を通して分かった。

○考察

発電所は、多くの発電をするために適した環境で発電をしているということが分かった。風力発電などの再生可能エネルギーが広がれば、もっと地球のことを考えた生活に近づくことができると思う。資源の問題は、発電という身近なことにもつながっていると考えさせられた作成だった。

○参考資料

- ・経済産業省資源エネルギー局 HP <https://www.mrecho.meti.go.jp>
「平成30年度エネルギーに関する5年次報告」
- ・茨城県 HP <https://www.pref.ibaraki.jp>
いばらきエネルギー戦略—「エネルギー先進県」を目指して—平成26年5月
- ・エレクトリカル・ジャパン <http://agora.ex.nii.ac.jp>
茨城県の発電所一覧 -ランダム-
- ・国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 HP <https://www.nedo.go.jp>

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○